

2020年10月3日

株式会社 GT アソシエーション
FIA-F4 事務局**FIA-F4 選手権 第 1/2 戦 予選上位コメント**

■ 第 1 戦 予選 1 位・第 2 戦 予選 2 位 神 晴也【#31 A TEAM Buzz Racing F110】



「要所所でいいアタックができて、1周全体を上手くまとめることができました。僕はスーパーフォーミュラ・ライツにも出ているので、久しぶりのレースではなかったのですが、クルマがまったく違うので、レースウィーク乗り始めは（FIA-F4 車両への）感覚の切り替えに少し苦労しました。それでもセッションを1本走り終えるころまでにはちゃんと切り替えることができていました。今日の決勝は第1レースがポールポジション、第2レースもフロントロウからなので、2レースともに優勝を狙っていきます。フル参戦2年目なので、チャンピオンを目指して最初から飛ばしていきます」

■ 第 1 戦 予選 2 位・第 2 戦 予選 1 位 平良 響【#35 TGR-DC RS トムススピリット F4】



「久しぶりのレースになったので、レースウィークを迎えた時はサーキットの雰囲気や自分自身の感覚が違っていると感じました。でも走り始めからレースをイメージしながら走ってきて、もう違和感はありません。エンジニアさんが良いセッティングをまとめてくれたので、クルマのセッティングを大きく変えることなくここまで来ることができました。第1レースはフロントロウから、第2レースはポールポジションからのスタートですが、富士スピードウェイはパッシングしやすいコースなので、簡単に逃げ切れるとは思いませんが、最初からトップに立ってそのままレースを走り切りたいと思っています」

■ 第 1 戦 予選 3 位・第 2 戦 予選 3 位 平木 玲次【#62 HELM MOTORSPORTS F110】



「レースウィークの最初から、クルマの調子はとてもよかったです。今日も微調整しただけでとてもいいフィーリングで走ることができました。昨日までのトレーニングでは、あまりいいタイムがマークできていませんが、それはずっと単独で走っていたから。富士ではスリップストリームを使うとコンマ2~3秒はアップするので、予選ではそれで後タイムがマークできると思っていましたが、結果的にほとんどのラップを単独で走ることになり、セクター1でちょっと伸び悩んでしまいました。でもレースになったら、自分のコンスタントラップは速い方だと思うので、序盤にバトルを抜け出してそのまま逃げ切るレースをしたいです」